

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年6月23日
事業者名:	株式会社 梅田

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	事業で使用する重機や社用車に低燃費車両を導入するとともにアイドリングストップを徹底し、燃料使用量と温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。上下水道・給排水設備工事や漏水・詰まり修繕を通じて水の損失を防ぎ、限りある水資源を守っています。併せて、事務所のLED化、書類の電子化によるペーパーレス化、建設発生土・コンクリート廃材の分別・リサイクルを進め、事業活動全体の環境負荷低減に努めています。		⑥安全な水とトイレを世界中に、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑬気候変動に具体的な対策を	今年度（令和7年度）はCO2削減率6.27%削減（前年度令和6年度比）	指標	二酸化炭素排出量を削減
					目標	2030年度までに車両の更新を進め、二酸化炭素の排出量を2024年度（令和6年度）比で15%削減します。
社会	地域の上下水道・給排水設備の整備や漏水・詰まり修繕・公共マス設置などを通じて、住民が安全かつ衛生的に暮らせる生活インフラを支えています。緊急の漏水・詰まり修繕には迅速に対応し、高齢者世帯を含む地域の水回りのお困り事にきめ細かく対応しています。冬季の除雪・融雪業務を受託し、地域の安全な通行を確保。従業員の資格取得支援にも力を入れ、技術向上と安定した雇用につなげ地域に必要なとされる事業を継続しています。		③すべての人に健康と福祉を、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑪住み続けられるまちづくりを	官公庁発注の上下水・給排水インフラ工事等を多数受託し、（年間約80件）個人住宅を含む地域住民からの漏水・詰まり等修繕依頼は年間50件以上に対応し、高齢者世帯を含む水回りの困り事に対応しています。冬季の町道除雪・融雪業務を継続して受託し、地域の交通安全を確保している。従業員数8名に対し毎年資格取得に向けて支援を行い、有資格者数は5名で、今年度は1名が1級管工事施工管理技士に合格した。	指標	給排水・漏水等の修繕対応件数、除雪・融雪の実績回数、従業員の資格取得者数
					目標	2030年（R12年度）までに、従業員の有資格数をR6年度比で増やし、緊急の修繕依頼に迅速に対応できる体制を維持・強化する。
経済	施工管理や見積・請求書等の社内業務にデジタル技術を取り入れ、ペーパーレス化と業務の効率化を進めている。インボイス制度に対応した請求書管理を整備し、適正な取引に努めている。地元の協会社・資材業者との取引を継続することで地域内経済の循環に貢献し、受注工事の地域内発注を維持している。併せて、適正な賃金と労働時間の管理、働きやす環境・職場づくりを進め、地域に安定した雇用確保している。		⑪住み続けられるまちづくりを、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑧働きがいも経済成長も	取引先は岐阜県内の自治会と地域住民の方で構成され地域内発注をほぼ100%維持している。完成工事87件（現在件数）インボイス制度に対応し、適格請求書を発行している。見積書・請求書の作成業務はデジタル化を進め、事務作業時間を削減するとともに、従業員に対する適正な賃金・労働時間と働きやすい環境・職場づくりを進め、地域における安定した雇用を確保している。	指標	社内書類の電子化率、時間外勤務時間、地元発注工事の割合
					目標	2030年度（R12年度）までに、社内書類の電子化率80%以上を達成し、時間外勤務をR6年度比で削減する。
ガバナンス	チェック					
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 環境・社会・経済の三側面それぞれに担当者を設定し、年度初めに重点取組と目標を全従業員で共有している。毎月の安全衛生会議や朝礼の場で進捗を確認し、年度末に実績を振り返って次年度の計画に反映するPDCAサイクルを構築している。SDGs宣言書の内容は社内に掲示し、全従業員が常に確認できるようにしている。				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組み記載ページのURL：https://umeda-1970.co.jp/sdgs/				